



子どもの読書活動推進 文部科学大臣表彰を受賞

平成 26 年度子どもの読書活動の優秀実践団体として、「子どもがお話をきく会」（山田 英子 代表）が文部科学大臣表彰を受賞され、5月 20 日に表彰状が伝達されました。

同会は、15 年以上もの長きに渡って、小松島市立図書館で絵本の読み聞かせや折り紙作りを行い、子どもたちに本の素晴らしさを教え、読書文化の向上と親子の絆の発展に寄与されていることが評価され、このたびの受賞となりました。



住宅用火災警報器に関する実態調査を実施

和田島地区婦人防火クラブ（安部 京子 会長）と消防本部が合同で 5 月 25 日、和田島町地区の 100 世帯を対象に住宅用火災警報器の維持管理に関する調査を実施しました。

クラブ員が各世帯を訪ね、警報器の設置状況の確認などを行い、警報器のさらなる普及を呼びかけていました。

住宅用火災警報器は、就寝時などの火災発生をいち早く知らせ、逃げ遅れを減らす効果が期待されており、平成 26 年 6 月時点での小松島市管内の普及率は約 6 割となっています。

レツツ無限より車椅子寄贈

小松島市・阿南市・那賀町の在宅障がい者で活動をしているサークル「レツツ無限」（土肥 康弘 会長）が 5 月 30 日、市役所を訪れ、プルタブ・アルミ缶を回収し購入した車椅子を市に寄贈していただきました。（今回で 2 台目の寄贈）

会員が障がい者でも出来る福祉活動として、平成 15 年から取組みを始め、県内の学校や幼稚園などで多数の方々が協力し集まったプルタブ・アルミ缶は、合計 800 キロ（200 万個分）を達成。

寄贈された車椅子は、市役所に配置され、来庁者にご利用していただきます。



「緑のカーテン」の苗を贈る

小松島ライオンズクラブ（井村 保裕 会長）が 6 月 5 日、夏の日差しを和らげる「緑のカーテン」の苗（ゴーヤ、あさがお、ひょうたん）を市内の小中学校や幼稚園、保育園などに贈りました。

同クラブの会員が育て用意した苗は約 800 株。最初に訪れたこまつしま健祥会保育園では、園児らが笑顔で苗を受け取っていました。

今回で 2 年目を迎えるこの活動は、子どもたちや市民に省エネや環境問題について考えてもらうため取り組まれています。